

令和六年度 卒業証書・修了証書・学位記授与式 式辞

本日、和歌山工業高等専門学校卒業を迎える本科 152 名の皆さん、修了を迎える専攻科 21 名の皆さん、誠におめでとうございます。

徐々に春めいてまいりました、この良き日に、御坊市民文化会館におきまして、令和六年度和歌山工業高等専門学校 卒業証書・修了証書・学位記授与式を挙行できますことは、本校にとりまして大いに喜びとするところでございます。

保護者・ご家族・ご親族の皆様におかれましては、大きく立派に成長されたお子様の姿に、お喜びもひとしおのことと存じます。今日まで長きにわたり、愛情をもって育てあげられましたことに、敬意を表しますとともに、これまでの本校に対するご理解・ご協力につきまして深く感謝申し上げます。

また、三浦御坊市長様をはじめ御来賓の皆様におかれましては、大変お忙しいところ貴重なお時間を頂戴し、本式にご臨席を賜りまして感謝いたしますとともに、常日頃、本校に対し多大なるご支援・ご助力をいただいておりますことに重ねて厚く御礼申し上げます。

さて、和歌山高専は昭和 39 年に設立され、昨年に創立 60 周年という節目を迎え、今日までに 8492 名の卒業生を送り出してまいりました。この長きにわたる歴史の中で、本校を卒業・修了した多くの先輩方は、地元和歌山県、また御坊市をはじめ、日本全国のみならず世界でも活躍し、科学技術の進展に多大なる貢献をされ、企業、教育研究機関等から高い評価がなされています。この誉れ高い実績があるため、企業や大学など多くの関係者から大きな期待が寄せられています。

特に、皆さんはコロナ禍という困難な事態に直面され、本科生におかれては入学式も実施できませんでしたが、日々、勉学・研究を続け、見事に克服されました。社会は皆さんを困難に打ち勝つ優れた即戦力として迎え入れることでしょう。

留学生におかれては、祖国を離れ、高い志をもって、言語や文化、習慣の違いを乗り越え、本校での学びを見事に達成されました。今後は、修得した幅広い知識や高度な技術力を、日本や母国の技術の発展に活かし、また、両国の友好親善に努めていただきたいと思います。

さて、これから新たな歩みをする皆さんに 3 点お願いしたいことがあります。

先ず一つ目ですが、社会の変化に積極的に対応し起業家的な行動能力を発揮してください。

現在、科学技術の進歩が著しく、経済事情や国際情勢も大きく変化し、生活様式や価値観などが激変しています。高い技術力を有する高専卒業生に対する社会の要請も多様化・高度化するなか、本校での実践的な学びを活かして、社会のニーズを新たに開拓しイノベーションを起こす力、起業家的な行動能力を発揮して活躍してください。

二つ目は、世界に通用する技術者となっていきたいと思います。

現在、世界は各国同士が協力関係を築いて成り立っており、我が国の国際化も進展しています。このため、皆さんが修得した高い技術力と広範な教養を基に、課題発見・解決能力などの総合的な人間力をこれからも身に付け、世界で活躍できるグローバルエンジニアとして飛躍していただきたいと思います。

三つ目は、感謝の念を持ち続けていただきたいと思います。

皆さんが、今まで健やかに育ち、この晴れやかな卒業・修了の日を迎えることができたのは、ご家族、先生、友人、地域の方々など多くの人達の愛情や温かな支えがあったからです。これからは、そのことをいつでも自覚し、感謝する気持ちや思いやる心を持ちつづけてほしいと思います。

最後になりますが、今後、皆さんが就職先・進学先で大いに活躍し、この先の人生が希望に満ち溢れたものとなりますよう祈念申し上げ、式辞といたします。

誠におめでとうございます。

令和七年三月一五日

和歌山工業高等専門学校長 井上 示恩